

みんなの広場



情緒あふれる秋の大川内山を散策



『新さが百景』に認定されている里小路の小笹生垣(東山代町里)

魅力あふれる夢のまち 伊万里ウオーク 2018

晩秋の心地良い風を感じながら

市内のさまざまな名所を歩いて巡る『伊万里ウオーク 2018』がありました。市内外から合わせて516人が参加。伊万里湾岸・大川内山・市街地を巡る3つのコースに分かれ、思い思いに観光名所や晩秋の風景などを楽しみました。ゴール後には温かいだご汁がふるまわれたほか、伊万里牛などの特産品が当たる抽選会なども行われました。



白壁土蔵に感じる焼き物の里



伊万里湾大橋は強風注意

ハートフルフォーラム 2018 in 伊万里 誰もが自分らしく輝く社会に

『ハートフルフォーラム 2018 in 伊万里』が市民センターでありました。伊万里商業高校の生徒会が企画・運営に参加し、司会進行や意見発表、紙芝居上演などを担当。また、LGBT支援団体のアオ*アクアによる人権講演や、合唱作曲家の弓削田健介さんによる人権コンサートもあり、来場者は人権についての理解を深めました。



↑テートDV防止啓発紙芝居で「相手の嫌だという気持ちを受け入れましょう」と訴える伊万里商業高校の生徒

市子育て支援センターぽっぽ 20周年記念コンサート これまで携わった全ての人に感謝を込めて

市民センターで、市子育て支援センターぽっぽの20周年を祝う歌とピアノのコンサートがありました。自身もぽっぽの利用者だった久保田文香さん(歌)と池永直子さん(ピアノ)が、童謡メドレーなどを披露。参加した母親たちには子どもと一緒に生の音楽に触れることができる貴重な機会となり、時折歌を口ずさみながら聴き入っていました。



↑ぽっぽの過去の利用者や先生たちも一緒に鑑賞

神原八幡宮『取り追う祭り』

心頭を滅却すれば火もまた涼し

二里町大里の神原八幡宮で、毎年恒例の伝統行事『取り追う祭り』がありました。南北朝の戦いに敗れ、この地に逃れた肥後の豪族が再起を図って火中訓練をしたことが起源とされています。もち米を握った『御供さん』をめぐり、攻め手と守り手が火の粉舞う激しい攻防を展開。合戦のあと、御供さんは観客にふるまわれ、無病息災を祈りました。



明治時代から受け継がれる伝統行事『頭わたし』 地域に幸せを運ぶ権現様の奇祭

大坪町古賀地区で、氏神様『今岳大権現』の分霊の世話役(頭)を、翌年の当番に引き継ぐ伝統行事『頭わたし』がありました。豊作に感謝し、長寿や健康を願う祭りで、『頭』は地区にある14の班が輪番で担当。くじで選ばれた新しい世話役たちは、墨を塗った顔で大権現や神主、ほら貝吹きなどの衣装をまとい、地区を巡行して各家庭に福を届けました。



空育® JAL 折り紙ヒコーキ教室

どうすればうまく飛ぶでしょう

国見中学校体育館で折り紙ヒコーキ教室がありました。これは、国の子供・若者育成支援強調月間に合わせ、市青少年育成市民会議などが日本航空株式会社(JAL)とともに開催したものです。日本折り紙ヒコーキ協会認定指導員の資格を持つJALの社員の指導を受け、紙飛行機を完成させた子どもたち。早速、夢中になって飛ばしていました。



第27回市民音楽祭 ～ふるさとの明日を歌おう～ 親しまれる市民手作りの音の祭典

市民センターで市民音楽祭がありました。市内で活動する20団体が、合唱や吹奏楽、箏、オカリナなど多彩な音楽を披露。合同発表で各団体からの代表者が『ジングルベル』を演奏すると、会場はクリスマスの雰囲気になりました。最後は、伊万里中学校吹奏楽部の伴奏で出演者と観客が『伊万里讃歌』を合唱し、美しい歌声が響き渡りました。

